

ビジネスPC、日本代表

西宮の学生・山口さん、来月渡米

連日5時間 資格3種

パソコンソフトの操作技術を競う「マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)世界学生大会」に、大手前大1年山口雪さん(18)(西宮市)が日本代表として出場する。県内から同大会に出るのは初めて。山口さんは「緊張せず上位を目指したい」と健闘を誓う。

(清家俊生)

MOSは、ビジネス文書で広く使われている「ワード」、表計算ソフト「エクセル」、発表用資料作成ソフト「パワーポイント」など、マイクロソフト社の五つの製品で正確な操作を問う国際的な資格。世界約150の国と地域で実施され、国内では年間約20万人が受験している。

山口さんは、高校生、専門学校生、大学生を対象で、昨年4月と今年3月に行われた日本大会に出場。延べ4万5000人が参加した

中、実技試験で高得点を獲得し、「パワーポイント部門」の日本代表3人の一人に選ばれた。

「以前はパソコンが苦手だった」といい、本格的に操作を覚えるようになったのは、好文学園女子高校(大坂市)2年の時。普通科総合コースからITライセンスコースに転籍したのがきっかけだった。

最初は級友との差を感じて挫折しかけたが、放課後だけでなく、帰宅後も5時間以上パソコンに向かい続けた。その結果、昨年2月以降、「ワード」「パワーポイント」「エクセル」のMOSを次々と取得した。

「頑張ればできると先生に励まされ、練習したことが世界大会出場につながった」と山口さん。7月29日から4日間、米カリフォルニア州のデイスニールランドで行われる本番に向け、「残り1か月、悔いのないよう、模擬試験を何度も繰り返したい」と意気込む。



「本番を目指し頑張りたい」と意気込む山口さん(左)伊丹市の大手前大(右)の模擬野キャンパスで。